

## 植 物 採 集 メ モ (3)

若 杉 孝 生

キ ク 科

### 1) *Chrysanthemum Zawadskii* Herbich

イワギク

昭和8年の福井県生物目録に<*C. sibiricum*  
*Fisch* チョウセンノギク(イワギク)越前国鳥岳>  
として記載があるが、これについては、その後の記  
録はないようである。

チョウセンノギクは*C. Zawadskii* var.

*latilobum*で、九州、朝鮮、満州、中国に産し、  
奥山野外図譜によると、葉は羽状中裂で、イワギク

よりもきれこみが浅い。前述の鳥岳の記録のものは、恐らくイワギクであろうと思われるが、  
鳥岳のものは、わたしはまだ見ていない。



(46. 9. 15 大野市三ノ峯)

ス ミ レ 科

### 2) *Viola chaerophylloides* W. Becker

f. *Sieboldiana* F. Maekawa et Hashimoto

ヒゴスミレ



ある植物を求めて山に行き、思わぬ余録(?)に出会うことが  
ある。これもその一つ。国見山のカンアオイとランナンシ  
ヨウを探しに行ったとき、山麓でコウライテンナンシヨウ  
を、中腹程で*Asarum* sp. そして頂上近くまで来て、  
ヒロハテンナンシヨウの濃褐紫色の水々しい仏焔花をつけ  
た数株の群生をみつけたとき、その傍になんと、かれんな  
たたずまいをみせる白いヒゴスミレの花が半ばうつむきか  
げんに、そよ風にふるえているではないか。わたしは思わ  
ず地面にへばりついてシャッターをきった。

(46. 5. 20 福井市国見山)

ウマノスズクサ科

3) *Asarum takaoui* F. Maekawa var. *hisauchii* F. Maekawa

キンキカンアオイ (ゼニバサイシン)

ヒメカンアオイの変種で、葉は小型で円い。本州(東海道、木曾、近畿)に分布。

(46. 6. 6 坂井郡竹田川上流)

ユキノシタ科

4) *Parnassia foliosa* Hook. fil. et Thoms var. *japonica*

Ohwi

オオシラヒゲソウ

シラヒゲソウに似るが、大型で葉は径6 cm以上に達し、莖葉は2-4個つく。

日本海側(山形県から兵庫県)に分布。

(46. 10. 17 大野市経ヶ岳)

5) *Saxifraga fortunei* Hook. fil. var. *partita* Nakai

カエデダイモンジソウ

ダイモンジソウの変種で、葉は中程まで深く5-7裂する。中部から西に分布し花期は9-10月

(46. 10. 3 大野市蠅帽子川上流)

ユリ科

6) *Fritillaria japonica* Miq.

アワコバイモ

昭和42年4月11日福井市のある山合いでコバイモを採集したが、その標本を調べているうちに、これはアワコバイモ型ではないだろうかと考えられた。コバイモ(コンノコバイモ)には、花被片の縁に突起があるが、これにはないのである。そこで、この標本を国立科学博物館の奥山先生にお見せしたが、やはりアワコバイ



モであろうということであった。さらに、昨年と今年の2回にわたって生の標本について調査し、その一部を奥山先生にお見せして確認していただいた。アワコバイモは、四国と中部の一部に分布しており、福井県内での分布状態はまだ明らかでない。今年の4月2日、林幸子氏と同所を訪れたときさらにその近くの山肌一面に多数のアワコバイモが咲き乱れているのを確認した。大切に保存したいものである。写真はそのときのものである。

(42. 4. 11 福井市)

---

リンドウ科

7) *Gentiana makinoi* Kusnez. f. *albiflora* Nakai

シロバナオヤマリンドウ

(46. 9. 15 大野市三ノ峯)

以上、福井県に初記録と思われるもの、または稀なものについて記しました。尚、標本については、1、2、4、5、6、は科博の奥山春季先生、3については前川文夫先生にみていただきました。記して謝意を表します。

S 4 7 年 4 月

福井市中央2丁目8-27